

近世多賀社文庫の目録二種について

―校割帳改と近世書籍目録―

重田香澄

はじめに

本稿は、当館蔵多賀社文庫に所在する同文庫の化政期の目録二種について、作成過程と関係性を整理し、当該期の文庫管理の一端を考えるものである。

同文庫は、現在山口市山口大神宮内に鎮座する多賀神社の大宮司高橋家で形成された文書群である。

同社は大内氏により近江国多賀大社から勧請されたという縁起をもち、高橋氏も大内氏と関係が深いといわれる。歴代当主の中にはそのような認識のものと大内氏に関する著述を残している者もある⁽¹⁾。

このようなこともあり、同社には多様な文物が集

積された⁽²⁾。これに加え、高橋家の宮司としての活動に関わる文書類や歴代の日記等一四七五点から、現在の多賀社文庫は構成されている。

同文庫は昭和五年（一九三〇）に山口県立山口図書館へ寄託、当館開館後に移管された。図書館が昭和十六年に整理した目録⁽³⁾を基礎として、当館の目録も作成されている。

以上の経緯をもつ同文庫であるが、近世の様子が窺える目録が、現在六件八点確認できる。これらは、大きく四種に分けられる。

A. 文化八年（一八一）「多賀大社御書物目録」

(0001)

- B. 文政七年（一八二四）「山口多賀大神宮御文庫書目」（0002）及びその後継版（0003・0004）
 C. 寛政九年（一七九七）「多賀社大神宮諸控総目録」（0739）

D. 寛政十一年「御当家族御寄附書立絵図并社記写総目録」（0817）

いずれも天明～文政期（一七八〇～一八二〇年代）に活動した大宮司高橋有文（右文）により作成された⁴。Cが祈祷・祭礼や修補等に関わる文書類の、Dが藩主等から寄進されたものや社記等の、総合的な目録であるのに対し、A、Bは蔵書目録に近いもので、収載されているものの重複も多い。

有文の活動した近世後期は、出版文化及び国学の隆盛期で、書籍分類法にも変化が認められた⁵。同時に、神職の専門化が進んだ時期でもあり、社家の蔵書が拡充していった事例も紹介されている⁶。また、当該期に蔵書を形成した家の多くが、地域の知の拠点として機能していた⁷。

高橋家は近世初期以来神職專業で、地域文化における存在感も当時から大きかったが、現文庫内には

有文収集とみられる書籍が多数あり、江戸後期以降、蔵書は山口町の勘場役人はじめ近隣の者に貸し出されていた⁸。同文庫が地域における文化的な核のひとつとして機能していたことは間違いなからう。

このような同文庫の機能の前提になったのが目録A、Bと考えられるが、両者が一三年とさほど間を置かずに作成されたことは、当該期の文化的な傾向に加え、短いスパンでの作成の必要性を感じていたことの表れでもあろう。両者の成立事情及び関係を整理し、また分類項目の排列等から作成意図を検討することで、当該の期山口地域における文庫（蔵書）管理や社家の学問・文化を考える足掛かりとしたい。

なお、当該期「書物」等と認識されたものの中には、今日それと認め得ないものも含まれる。本稿では書目の分類と排列の分析を主とするため、殊更に定義せず、当時の認識に従って把握することとする。

一 概要と校割帳改

Aの「多賀大社御書物目録」（以下「目録1」）に

ついては、原表紙に「文化八年校割帳御改／多賀大社御書物目録／大宮司高橋撰津守右文」とあり、藩による校割帳改に際して作成されたことがわかる。

校割帳の「校割」は「交割」とも書き、おおよそ①主に寺院の住持引継時における什物調査とその目録、②引き渡すこと、③前近代の中国における事務交替時の担当者間の引継、の三つの意味がある⁽⁹⁾。萩藩及びその支藩では、①（及び②）の寺社の什物目録の意の他、③の役所の引継の意の用例もある⁽¹⁰⁾。今回は前者の意味で使用されている⁽¹¹⁾。

多賀社に関しては「校割帳御改一件」(084)に目録1の作成経緯がまとめられており、表紙に次のように概要が記されている⁽¹²⁾。

文化八年末三月

一 社職代替之節ハ校割帳御改之事可申候事、

一 社職被仰渡候日乃九十日之内寺社所江罷出受判

可仕候事、

校割帳御改一件

但し文化四年四月申出共ニひかへ有之候事、

高橋撰津守

一 社職受判不仕候儀有之、文政五年御沙汰相成、追々御答被仰付受判仕候儀有之候事、

これによると、校割帳改は、社職の代替わり後九〇日以内に寺社所へ届け出て承認される必要がある。しかし、この時の校割帳改は、文化四年に申し出、文化八年に提出されたもので、申し出た時点で有文が大宮司として活動し始めてから二〇年近く経過している。これは有文が社職として正式に届け出ていなかったことによることも記されている。

四丁目表から裏にかけて、「此後代替之節ハ余分之書物書添御帳江入申度事ニ候間……」とあり、以後校割帳改を代替わり時の恒例とし、この目録を基礎とする意図があつたことを窺わせる⁽¹³⁾。これに続けて「此校割帳ハ外向ニハ無之、大造之事ニ付、御代官所も不^レ輕、寺社所之判形をも取直、申出をも仕候事、」とあり、外部提供せず、寺社所へ直接届け出るものであつた⁽¹⁴⁾。また、校割帳は二冊作成し、寺社奉行等の証判を経て、一冊は寺社所、もう一冊は多賀社で保管した⁽¹⁵⁾。

目録1では「^ノ四百八十一部／巻数千百八十九部

也／軸卷冊共二」を「和史其外」から「雑部其外」までの一四項目に分類、排列し、更に「右ノ外ニ左ノ分御改之部也」として七点を挙げる。書目は一つ書で列挙されている。これを、重複による抹消を除いて一覽したものが文末の表1で、全部で四九一件一一九六点である。

同目録上の書籍名には朱引があるが、これは原表紙裏注記によると、文化十四年におこなわれた「引合」、再調査によるものである。一つ書としてはまとめられているが、朱引は個別に付されているものについてはそのそれぞれを一件として数え、重複のない抹消も一件と数えたため、表上の数は目録上で報告された数より三件多くなっている。

同目録末尾、「右私代替ニ付此度御改被仰付前書之通り相違無御座候、以上、／文化八未 印判／三月高橋撰津守書判」の後が切除されている。他の事例では書籍に加え什器や建具、仏像等も調査の対象であり⁽¹⁶⁾、同様の記述が続いた可能性もある⁽¹⁷⁾。

Bの0002「山口多賀大神宮御文庫書目」（以下「目録2」）は二冊組で、六八六件一七八〇点を「国史類」

から「儒書并詩文并雑」までの一四の大項目に分類して収める。一三年の間に二〇〇件ほど増えたと単純に考えることは控えるが、この時期に蔵書数の増加があったことは多賀社文庫各資料の蔵書印等からも窺える。これを一覽したものが文末の表2で、各欄の記載事項は表1に同じである。

各冊末尾に「右多賀大神宮御文庫之書目大概此二冊ニ相見申候、其外書抜物数多御座候得共是者書載不申候、以上、」とあり、抜書は収載しなかったとしている。

目録1に収載されいながら目録2で落とされたものは八四件あり、表1にアミガケで示した。目録1で抹消されている一件を除く全てが文化十四年「引合」時に確認されており、目録1から目録2の間に散逸したとは考えにくい⁽¹⁸⁾。

また、合綴等により独立したタイトルとして認識されなくなった可能性も考えて、現在多賀社文庫内に残っているものを表3にまとめたが、ほとんどが独立した一点で存在しており、状態変更による埋没も考えにくい。これらのことから、目録1にあつて

目録2にないものは、意図を持って落とされたことになる。その内板本は一六件と二割程度で、多くが写本、特に聞書や拔書、抜粹集であることから、目録2末尾の注記を裏付けているといえる。

二 分類項目の排列と典拠

目録2の各冊表紙裏には「此書目二凡ノ部類分ち御座候得共古帳ニ入交り御座候故其佚書写仕候事」との注記がある。目録1で分類されているにもかかわらず、あえて「おおよそ分類した」と言明する必要がどこにあるのか。また、「古帳」とは何か。まずは両者の分類項目を確認する。

表4に両目録の分類項目名と排列順を掲げた。どちらも国史・神祇関係が冒頭に来るのは共通しているが、漢籍の位置が大きく異なる。目録1では儒書・詩文・トに分けて儒書は神祇関係の次、詩文・トは後半に分散されているのに対し、目録2ではまとめて最後に配されている。字書も、目録1では歌書類や天文の後にあるのに対し、目録2では前に置かれ

ている。また、目録1にはない有職・氏族・紀行・地理・随筆・記録の項目が設けられている。

いずれも有文の独創とは考えにくく、参考にしたものがあると考えるのが自然である。ここで、近世書籍目録の項目立て及びその変遷を、先学の研究をもとに整理すると、おおよそ次のようになる⁽¹⁹⁾。

近世前期、書籍目録は上方の書肆が作成した。例えば、寛文年間（一六六一〜一六七二）に出された『和漢書籍目録』の項目の大まかな排列をみると、
积経（仏典）・儒書・字書・史書（国史）・曆書・軍書・医書・文芸・芸能（管弦等）・通俗の順である。
仏典と儒書が前に来ているのは前代の出版が寺院中心だったことの名残とされる。これが国学の隆盛と共に変化し、たとえば享和元年（一八〇一）の『合類書籍目録大全』では、史書（国史）・儒書・字書・医書・积経・文芸・芸能・軍書・通俗となり、「史」に分類された国史および神祇・有職・国内諸家系図等が先頭へ、仏典が医書の後へと位置を下げる。儒書の位置が変わらないのは、為政者の学問としての儒学の存在感によるとのことである。これが更に、

国学者尾崎雅嘉による解題書目『群書一覽』（享和二年刊）では、史書（国史）・字書・文芸・釈経・芸能・地理・随筆・雑・群書類従の順となり、前二者では上位に来ていた儒書が消える。また、軍書も消え、主に史書中の「雑史」へと分類されていく。

これらの排列を多賀社の目録と比べると、医書や歌書の排列の前後はあるが、目録1は『合類書籍目録大全』のような国学隆盛以降の書肆目録に近い史↓儒の排列で、目録2は『群書一覽』のような国学系目録に似た史↓字の排列であることがわかる。

しかし、目録1、2共に、それぞれ『合類書籍目録大全』や『群書一覽』と全く同じ項目立てというわけではない。表5のA、Bはそれぞれ『合類書籍目録大全』と『群書一覽』の項目を一覧したものである。表4の目録1、2の排列と比べると、共通する違いは仏典がないことである。他にも、排列を動かしたり、多賀社の所蔵件数の少ないものは項目を削ったり統合したり、一方で神祇関係の項目を増やしたりしており、いずれの項目排列も、多賀社の蔵書の分布に合わせて手を加えたものといえる。

目録1の項目排列を『合類書籍目録大全』と比べてみると、史書↓儒書、末尾に近い方に軍書、通俗書（雑）という大枠は共通しているが、字書・医書・歌書・連歌書等の排列が前後する。そのため、『合類書籍目録大全』というよりはこれに類する構想（秩序）の書籍目録の参照を考えてもよいだろう。

目録2については、儒書と詩文を合わせて末尾にし、記録類も、『群書一覽』のような有職故実に関する日記類等ではないことから後方へ移動した点以外は、『群書一覽』と大枠で共通する。目録1、2共に『群書一覽』を収載し²⁰、有文が参考にした可能性は高いと考えられる。和歌関連を歌書と連歌書にまとめ直し、地理と名所もまとめる等して整理している。目録2の多くの項目に「并雑」が付いているのはこのような経緯によるものであろう。

以上、ふたつの目録の分類項目の排列はともに同時期の書籍目録等の排列に倣ったものであった。いずれも一九世紀初頭の国学の隆盛と存在感の増大を反映して、国史・神祇関係の項目が冒頭に来ているが、目録1は漢籍、特に儒学関係書籍に重きを置い

たもの、目録2は国典中心により純化したものといえる。次節ではこの違いの背景と作成過程を考える。

三 項目と書目の関係

まず確認しておきたいのが、先述のように、目録1作成時点で、有文は目録2のベースとなった『群書一覽』を所持している点である。同書の刊行された享和元年は目録1作成の動きが始まる六年前である。刊行後すぐではなくとも比較的早い段階で入手していたことは窺える。しかし、目録1段階でこれを踏襲しなかったのには理由があるのであろう。

考えられることのひとつは、前節で確認した、項目排列にみる学問の秩序の問題である。目録1は藩から義務付けられた校割帳改にあたり作成された。他事例として現時点で確認できているのが寺院の校割帳なのだが⁽²¹⁾、一定量の書籍目録をもつ大照院のものは、仏書↓儒書↓字書の順に排列している⁽²²⁾。時期としては安政以前、江戸後々末期のものである。他の寺院のものは寺の規模もあつてか仏書のみだが、

この時期の校割帳の書式として一定程度の枠を考えてもよからう。支配の論理の中で作成されるものとして、儒書の位置づけは重要であつたのだろう。

もうひとつが、時間と作業量の問題である。実は、冒頭で紹介したCの寛政九年「多賀社大神宮諸控総目録」中にも「什書目録」がある。但し、収載されている「書」は四八件と極端に少ない。他の部分に収められている可能性もあるので確言は避けるが、蔵書の拡大か、藩の指示による目録作成方針の変更か、あるいはその両方か、によって編集方針がこれまでと大きく変わったため、蔵書量と要求に堪える分類法を消化するのに時間が必要だったのでないか。それを物語るのが目録1と目録2の書籍の分類先の違いである。表2には、目録2に収載された書籍が目録1でどこに排列されていたかも示してある。

多くは項目排列の変更による移動や、国史・神祇関係・有職関係間等、関連項目間の移動なのだが、注意したいのが目録1で「雑書」としていたものを目録2で分類しなおしている点である。目録1段階では、どこに分類すべきか判断しかねる「雑書」が

数多あったということであろう。他にも、目録2では10「地理類」にある『都名所車』が目録1では2「神代神武卷註釈類其外」に分類されたり（京都の社寺の解説Ⅱ註釈という感覚だろうか）、目録2で7「歌書類并雜」にある『源氏物語全部の歌』が目録1では3「祓類其外」に分類されたりしている。作成者が同じにもかかわらず分類が変えられているということは、違和感をもつ分類だったのであろう。

目録1は完成までに四年かかっており、様々な意味で「大造（＝大層）之事」であったのだろう²³。

これを蔵書の傾向や所有者である有文の関心に沿って、「外向」にも提供できるよう編成し直したのが目録2と考えると、同目録表紙裏の「凡ノ部類分ち御座候」も理解できよう。文化一四年の目録1の「引合」は、目録2作成に向けての準備作業で、これをもとに納得のいく目録を作成した可能性が高い。

目録2はその後、増補用の新収目録（0004）が作成され、更に目録2と新収目録との統合版（0003）も有文の名で作られる。有文の活動期間を考えると、彼の集書・研究活動のひとつの到達点であったのだ

ろう。また、この系統の目録は近隣へも貸し出され²⁴、一般郷土²⁵には世良利貞書写のものが残っている²⁵。まさに「外向」に使われたといえよう。

「古帳」については、本稿の作業のみからは判断できない。目録2の前の帳簿という点、目録1と考えるのが自然だが、「入交」というほど目録1の分類を踏襲していない。むしろ、目録1と目録2の関係からは、藩提出用のものと日常の管理用の二種があった可能性もあろう。また、前述Cの「什書目録」も有文の作成であり、この種の目録が折に触れ作成されていた可能性も否定できない。現存しない目録の存在も含め検討していくべきであろう。

まとめと展望

以上、多賀社文庫の近世後期の書籍目録二種について、構成と作成の経緯をみてきた。表面採集に推論を重ねた部分もあるが、おおよそ以下のことは明らかにできたと考える。

まず、目録1は文化四年から八年におこなわれた

校割帳改に際して、大宮司高橋有文により作成された。以後の代替わり時の恒例とすべく、書肆系書籍目録の分類を下敷きに作成された。但し、何らかの限界があったため、書籍の分類排列に不十分な点が残った。二冊作成して萩の寺社所と多賀社とに保管、原則として外部提供するものではなかった。

これに対し、目録2は目録1の作業をもとに、同じく高橋有文によって文政八年に完成した。有文らの私用、また近隣への貸し出し用で、彼らの関心に沿うべく、『群書一覽』に倣った国学系の分類で排列した。完成後にも後継目録が作成される等、多賀社及び地域社会の中で長く生きた目録となった。

課題として、今後の展望をいくつか述べておく。

ひとつは校割帳改について。史料上、多賀社に対して実施されたことが確認できるのは元禄九年、今回の文化八年、有武代替わり時の天保三年の三回である⁽²⁶⁾。天保度についても文書があり、ある程度の経緯は知ることができるが⁽²⁷⁾、成果物である目録はなく詳細は不明である。但し、県庁旧藩¹⁹⁶⁷に、寺社所に納められた文化八年度目録の写と、別の目録

が合綴されている。目録2に収載されていない書籍を含むもので、天保度か、その後の目録と考えられる。多賀社文庫の書籍には校割帳改時目録収載書籍可否を注した印も捺されており⁽²⁸⁾、整理過程を明らかにできるものと考ええる。また、これを他の寺社の事例と併せ分析することで、萩藩の校割帳改についても、一定の見通しがたてられるであろう。

次に高橋有文の集書活動や学問研鑽についてで、目録2系統の詳細な分析に加え、文政六年の書籍寄進⁽²⁹⁾や読書記録等⁽³⁰⁾、有文が残したものを迎えることのできるのところが明らかになるものと思われる。最後に多賀社の蔵書状況で、C、Dの目録の分析や、多賀社文庫に複数種確認されている蔵書印等の分析、また県立山口図書館内に「多賀文庫」として収蔵されている書籍の分析をとおして、一定のことはわかるのではなからうか。

勿論、今回検討した目録1、2そのものについても、各書目の精査により当該期の書籍観、学問観が一層明らかにならう。今後の課題としたい。

註

- (1) 高橋言延「大内様御家根本記」(多賀社文庫 0153)、高橋有文「大内正統系譜」(同 0141)等。以下の本文及び註において資料に付された四桁のアラビア数字は、断りのない限り多賀社文庫のものである。
- (2) 熊本守雄「翻刻『兼載独吟聖廟法楽千句附注本』」(『山口女子短期大学研究報告』二四、一九六九年)、影山純夫「雲谷等顔と連歌」(『山口県地方史研究』四九、一九八三年)、真木隆行「氷上山秘奥記翻刻并解題」(『やまぐち学の構築』三、二〇〇七年)等。
- (3) 1473「多賀本目録」。
- (4) 社職就任が安永十年(0733「社記目録」)、神道裁許状授与が天明四年(1177「山口多賀大大宮司高橋氏吉田家神道裁許状」)、大宮司の署名の最後が天保三年(0497「朝倉八幡宮大宮司裁許状写」)。
- (5) 岡村敬二「分けて分かる」(『大阪府立図書館紀要』三一、一九九五年)。
- (6) 鈴木理恵「神職專業化志向と蔵書形成」(『近世近代移行期の地域文化人』第一章、塙書房、二〇一二年、初出二〇〇四年)、中澤伸弘「富永芳久舊蔵『楯之舎書籍目録』の一考察―近世後期の社家蔵書の一斑―」(『國學院大學日本文化研究所紀要』九七、二〇〇六年)等。
- (7) 鈴木前掲註(6)書、工藤航平『近世書籍文化論―地域(知)の形成と社会』(勉誠出版、二〇一七年)等。
- (8) 「多賀社文庫本貸出並借用証書」(0917)は安政年間(一八五四―一八五九)の貸出目録。また、文政年間に山口勘場役人を務めた塩田家の文書(当館蔵)中には多賀社文庫の蔵書印等のある書籍もあり(塩田家文書421、433、436、同和漢558、603～607、616～618、621、655、656)、借用による塩田家への流入(多賀社からの流出)が窺える。
- (9) 『日本国語大辞典』第二版(小学館、二〇〇〇-〇二年)。
- (10) 山崎一郎「萩藩当職所における文書の保存と管理」(『山口県文書館研究紀要』二三、一九九六年)。
- (11) 萩藩の校割帳改に関しては、万治三年毛利綱広条々(諸寺法度の事、『山口県史料編近世二』萩藩近世前期主要法制史料集277)に関連するとみられる記述はあるが、校割帳の名はない。近世後期にかけての制度の変遷については今後の課題としたい。

- (12) 同綴に「校割帳御改初中後之事、此記録之外文化八年未ノ社記ニ委敷有之候」とあるが、社記は逸失。
- (13) 有文から有武への代替わり時には実施(0897「交割帳御改願出控 社職代替ニ付」)。
- (14) 0844「校割帳御改一件」二丁目表、三丁目表等。
- (15) 同右五丁目。
- (16) 「大成寺校割帳」(徳山毛利家文庫「寺社・町方」91、92)、「大照院校割帳新入物控」(県庁伝来旧藩記録964)、「普濟庵校割帳」(市原家文書40)、「校割帳」(月輪寺文書14)。
- (17) これの寺社所提出分の写しが県庁旧藩967。後述。
- (18) たとえば前述塩田家文書中の多賀社旧蔵書は、塩田彦左衛門時貞が山口勘場役人を務める文化十四年以降文政七年までに塩田家に流出した可能性もあるが、塩田家文書中の多賀社蔵書には天保の校割帳改以降の書籍もあり、目録2収載書目もあることから、この可能性は低いと考える。詳しくは稿を改めたい。
- (19) 阿部隆一『江戸時代書林出版書籍目録集成』解題(井上書店、一九六四年)、弥吉光良「図書目録における分類思想の発展」(『弥吉光良著作集 第二巻』、一九八二年)岡村前掲註(5)論文、同『江戸の蔵書家た

ち』講談社、一九九六年)等。特に岡村一九九六年、仏典の序列への注視に拠るところが大きい。

- (20) 目録1…3-100、目録2…11-21。
- (21) 註(16)参照。
- (22) 県庁伝来旧藩記録964。
- (23) なお、天保の代替わり時の校割帳改も天保三年に着手したが完了は天保五年で(塩田家文書と漢421)、九月で出来る作業ではなかったようである。
- (24) 0917「多賀社文庫本貸出並借用証書」三丁目裏、安政五年、山口寺社方近野虎之進への貸出として「御文庫書目 式」とある。標題・冊数とも一致しており、どの段階かは不明だが、目録2系統のものであろう。
- (25) 「山口多賀大神宮御文庫書目録」。
- (26) 『防長風土注進案』一三(山口県文書館、一九六一年)。
- (27) 0897「交割帳御改願出控 社職代替ニ付」。
- (28) 多賀社文庫内には註(23)、塩田家文書と漢421の印と同じ形式の「文化八年校割帳御改四百八十一部ノ惣数千百八十九部之内」等の捺印が散見される。押捺時期も含めた検討が必要である。
- (29) 0879「多賀社司高橋有文書籍寄進状」。
- (30) 1200「見聞雑記」。

表1. 「多賀大社御書物目録」（多賀社文庫0001）収載書目一覧

- * 「項」は項目名、「No.」はその中での排列を示す。
 * 「書籍名」は常用漢字に改める以外は目録上の表記に従った。
 * 「板写」「巻冊」は目録上の表記から類推できる範囲で記入した。
 * アミガケは目録2にないものを示す。
 * 項目の排列は、1：和史其外／2：神代神武巻註釈類其外／3：祓類其外／4：儒書其外／5：歌書其外／6：連歌書其外／7：天文書其外／8：字書類其外／9：詩文類其外／10：養生書／11：軍書類其外／12：卜書／13：謡本／14：雑部其外。

項	No.	書籍名	板写	巻冊
2	23	神道諸伝集 軸物	写	1
2	24	旧事本紀	板	5
2	25	読旧事記説	写	1
2	26	旧事本紀撮要 大成経	写	1
2	27	古事記	板	3
2	28	草庵集類題	板	1
2	29	古語拾遺	写	1
2	30	古語拾遺	写	1
2	31	神道名目類聚鈔	板	3
2	32	神明憑談	板	2
2	33	仰徳大明神社再建記	写	1
2	34	日本学則	写	1
2	35	畑村御嫡ノ森之伝	写	1
2	36	防長両国古実	写	1
2	37	延喜式	板	50
2	38	延喜式太祓詰訓	写	1
2	39	延喜式但祝詞卷神名帳	板	3
2	40	延喜式	板	5
2	41	神名帳頭書	写	1
2	42	令義解	板	11
2	43	法曹至要鈔	板	3
2	44	禁秘鈔	板	3
2	45	公事根源集积	板	3
2	46	漢事始	板	3
2	47	職源鈔	板	2
2	48	職源支流	板	1
2	49	職源童幼鈔	写	1
2	50	官職秘鈔	板	2
2	51	類聚和名鈔	板	5
2	52	本朝神社考	板	6
2	53	諸社一覧	板	8
2	54	神社便覧	写	1
2	55	一宮記	写	1
2	56	出雲大社起事	板	1
2	57	厳嶋路芝記撮要	写	1
2	58	稻荷社記	写	1
2	59	諸社神体略記 成重述	写	1

項	No.	書籍名	板写	巻冊
1	1	日本書紀	板	15
1	2	続日本紀	板	20
1	3	日本後紀	板	20
1	4	続日本後紀	板	20
1	5	文徳実録	板	5
1	6	三代実録	板	30
1	7	日本書紀通証	板	22
1	8	日本魂 蓼倉先生撰附録学則問答	写	1
1	9	神代巻 山崎点	板	2
1	10	神代巻 白川家学碩点并頭書	写	2
1	11	神代巻 下御霊板	板	1
2	1	神代巻口決 忌部	板	5
2	2	神代巻鈔 山崎先生考訂	写	1
2	3	神代巻常盤草 松岡先生	写	2
2	4	神代巻口説 上 木金氏	写	1
2	5	神代巻聆書 玄斎先生	写	1
2	6	神代巻口授 松岡先生	写	1
2	7	神代巻延享聞書	写	1
2	8	神代巻白銅鏡章	写	1
2	9	神代巻白蔽伝	写	5
2	10	神代巻上講義 環翠軒宗尤	写	2
2	11	神代巻合解	板	12
2	12	神代巻藻塩草 神武巻共	板	6
2	13	日本書紀私記	写	1
2	14	神代巻神武巻日蔭草	写	1
2	15	神武巻葵草乾坤	写	1
2	16	神武巻之鈔	写	1
2	17	玉籤集目録共	写	9
2	18	神代巻最極奥秘	写	1
2	19	文字の道しるべ 旅の土産	写	1
2	20	元元集	板	8
2	21	玉籤集目録	写	1
2	22	弁財天略縁起	写	1

項	No.	書籍名	板写	巻冊
2	101	神風恵草	写	2
2	102	神伝	写	1
2	103	祈祷弁口授	写	1
2	104	太鼓口決	写	1
2	105	神楽秘文抄	写	1
2	106	よさしふみ	写	2
2	107	かみこの路	写	1
2	108	松岡先生延享二年夜話	写	1
2	109	疑説答問	写	1
2	110	足土根記	写	1
2	111	神道愚案抄 成重述	写	1
2	112	神道六箇条 成重述	写	1
2	113	甲子祭儀 橘家	写	1
2	114	猿田彦大神伝	写	1
2	115	庚申伝 口授	写	1
2	116	庚申伝	写	1
2	117	庚申祭儀 橘家	板	1
2	118	幸神秘決	板	2
2	119	太宰府天満宮古実	写	2
2	120	御鎮座次第記 下巻奇物	写	1
2	121	御鎮座本記	写	1
2	122	御鎮座伝記	写	1
2	123	倭姫命世記	写	1
2	124	宝基本記	写	1
2	125	神山二葉草	板	3
2	126	神道野中清水	板	4
2	127	神路事触	板	3
2	128	本朝麓近道	板	3
2	129	神国女訓抄	写	1
2	130	湯立神楽唱	写	1
2	131	神家必用大概	写	1
2	132	竜雷伝	写	1
2	133	土金伝	写	1
2	134	土金伝訓	写	1
2	135	或問土金伝	写	1
2	136	神道土金伝或問	写	1
2	137	諸社銘文	写	1
2	138	十二支和訓 但天真坤元靈符伝之内	写	1
2	139	神道日本魂	写	1
2	140	大内殿掟別札類	写	1
3	1	中臣祓集説	板	3
3	2	中臣祓旧証	板	3
3	3	中臣祓塩土伝	板	1
3	4	中臣祓風水鈔	写	1

項	No.	書籍名	板写	巻冊
2	60	出雲国杵築天日隅宮考	写	1
2	61	伊勢斎宮内親王行事記	写	1
2	62	大倭豊秋津嶋卜定記	写	1
2	63	石州高角人丸神社宣命位記	写	
2	64	播州明石人丸社女房奉書	写	1
2	65	高角明石両社工御奉納和歌共二	写	
2	66	山城国愛宕郡吉田社一覽	写	1
2	67	都名所車	板	1
2	68	雍州府志	板	10
2	69	駅路鈴図	写	1
2	70	殷馭盧嶋筆記	写	1
2	71	和論語拔書	写	1
2	72	京羽二重	板	8
2	73	本朝皇胤紹運録	板	1
2	74	本朝皇胤統紹運録	板	1
2	75	神皇正統記	板	6
2	76	続神皇正統記	板	1
2	77	無窮記	写	1
2	78	諸神系図	板	1
2	79	日本歴史略評註	板	4
2	80	神道正統弁	写	1
2	81	本朝神祇道社家系図	写	1
2	82	神家要文拔書	写	1
2	83	雲上明鑑	板	2
2	84	神学系伝	写	1
2	85	垂加翁弟子記	写	1
2	86	松岡先生伝	写	1
2	87	日本諸家人物志	板	1
2	88	藩翰譜拔書 毛利三家侯	写	1
2	89	御代初鈔 御即位大嘗会	写	1
2	90	天神七代地神五代神武略系	板	1
2	91	天神七代	写	
2	92	地神五代	写	1
2	93	日本国中小神社鎮座	写	
2	94	天口事書	写	1
2	95	古老口実伝	写	1
2	96	神宮統秘伝問答	写	1
2	97	神皇実録	写	1
2	98	神祇拾遺	写	1
2	99	神懷秘抄	写	1
2	100	十二辰位伝 松岡先生著述	写	1

項	No.	書籍名	板写	巻冊
3	47	日所作五行大事	写	1
3	48	忌部八箇祝詞	写	1
3	49	御啓白文伝記	写	1
3	50	神部雜記抜書	写	1
3	51	神拝次第 附り祝文	写	1
3	52	竜田風神祭祝詞	写	1
3	53	護身神法口決	写	1
3	54	駅のしをり	写	1
3	55	十八神道元気円満鈔	写	1
3	56	広田南宮剣珠祝詞	写	1
3	57	防長諸寺社御祈願并御祈禱料	写	1
3	58	宗源神道	写	1
3	59	八箇祝詞	写	1
3	60	三元神道三妙加持経鈔	写	1
3	61	唯一神道妙法要集	板	1
3	62	唯一神道妙法要集并制戒系譜	写	1
3	63	吉田家奥秘切紙	写	1
3	64	吉田御灯文写	写	1
3	65	神道大意	写	1
3	66	神道大意大意義解	写	1
3	67	神道大意抄	写	1
3	68	神道大意 守中翁撰	写	1
3	69	孝経 再刻	板	1
3	70	中臣祓白雲抄講談開書	写	1
3	71	十数伝	板	1
3	72	十数伝講書 光海翁再述	写	1
3	73	神道服忌令 吉田家	写	1
3	74	服忌令 武家	写	1
3	75	神道葬祭略次第 吉田家伝来	写	1
3	76	神宮先考祭記	写	1
3	77	橘家神軍伝開書	写	1
3	78	橘家神軍伝	写	1
3	79	橘家玉方陣	写	1
3	80	塩竈大明神之伝	写	1
3	81	唯一神道護摩次第 外二神壇之凶添	写	1
3	82	十種神宝極秘伝	写	1
3	83	金毘羅大権現之事	写	1
3	84	大内正統系譜	写	1
3	85	神世七代図記	写	1
3	86	十種極伝 維淵志	写	1
3	87	十種神宝図	写	1

項	No.	書籍名	板写	巻冊
3	5	中臣祓晴明抄	写	1
3	6	中臣祓白雲抄	写	1
3	7	中臣祓諸葉草	写	1
3	8	中臣祓成重鈔	写	1
3	9	中臣祓内閣	写	1
3	10	中臣祓講述鈔	写	1
3	11	伊勢中臣祓開書	写	1
3	12	橘家中臣祓	写	1
3	13	中臣祓愚案書	写	1
3	14	中臣祓正義直授鈔	写	1
3	15	厄歳之事 和漢三才図会	写	1
3	16	中臣祓三箇大事八箇伝	写	1
3	17	中臣祓管窺 風水草 上巻	写	1
3	18	中臣祓鈔 兼俱卿	写	1
3	19	中臣祓石好講義	写	1
3	20	中臣祓秘説抄	写	1
3	21	中臣祓講義録	写	1
3	22	中臣祓秘伝抄	写	1
3	23	中臣祓直授鈔	写	1
3	24	中臣祓口決	写	1
3	25	祓八箇事	写	1
3	26	靖献遺言講義	写	1
3	27	歌枕秋祢覚	板	1
3	28	六根清浄大祓弁略	写	1
3	29	六根清浄大祓御弁書	写	1
3	30	六根清浄大祓弁書	写	1
3	31	六根清浄大祓俗解	写	1
3	32	六根清浄大祓永弘鈔	写	1
3	33	六根清浄大祓成重鈔	写	1
3	34	六根清浄大祓集説	板	1
3	35	六根清浄大祓浅説	板	1
3	36	六根清浄大祓私鈔	写	1
3	37	六根清浄大祓講義	写	1
3	38	六根清浄大祓偽義	写	1
3	39	六根清浄大祓偽書考	写	1
3	40	光源氏物語全部之歌	写	1
3	41	忌部秘句八箇〔祝詞〕道分草	写	1
3	42	三種大祓秘決	写	1
3	43	神道明弁	写	1
3	44	三種大祓伝	写	1
3	45	三種大祓社参次第開書 吉川家	写	1
3	46	三種大祓奥秘 軸物也	写	1

項	No.	書籍名	板写	巻冊
5	2	厚顔鈔撮要 神代六首	写	1
5	3	和歌極秘伝	写	1
5	4	百人一首改観鈔	写	3
5	5	二十一代和歌集撰者録 軸物也	写	1
5	6	古今和歌集	板	2
5	7	万葉千歌	写	1
5	8	三十六歌仙金玉鈔	板	2
5	9	三ノ宮今八幡御連歌 慶安年中	板	1
5	10	新古今和歌集	板	3
5	11	真名伊勢物語	板	1
5	12	和歌題林愚鈔	板	8
5	13	増補和歌題林鈔	板	11
5	14	付合小鏡	板	1
5	15	袖珍名所歌枕	板	1
5	16	大原千句 追加并宗長述懐	写	1
5	17	名所方角鈔	板	1
5	18	和漢朗詠集	板	2
5	19	古今和歌集三鳥三木伝	写	1
5	20	連歌至宝抄	写	1
5	21	取集連歌	写	1
6	1	無言抄	板	1
6	2	連歌世々指南	板	1
6	3	連歌至要抄	写	1
6	4	西山宗因夢想連歌	写	1
6	5	化野千句	写	1
6	6	芸州巖島社御奉納連歌 文禄三年両吟千句二ツ物集	写	1
6	7	昌琢連歌 付り花下家系	写	1
6	8	心前連歌 千句	写	1
6	9	名所小鑑	板	1
6	10	大附合	板	6
6	11	西国記	写	3
6	12	莊柄千句 鎌倉	写	1
6	13	七百韻 江戸	写	1
6	14	連歌聞書	写	1
6	15	草庵和歌集類題連歌	写	1
6	16	連歌両夜記	板	1
6	17	昌桂三回忌追悼連歌百韻	写	1
6	18	兼載連歌集	写	1
6	19	発句帳	板	2
6	20	梵灯廟主袖	写	1

項	No.	書籍名	板写	巻冊
3	88	持授鈔	写	1
3	89	自從抄	写	1
3	90	宝鏡図	写	1
3	91	十種神宝図形	写	1
3	92	垂加文集	板	7
3	93	垂加全集	板	8
3	94	倭小学	板	3
3	95	元亨釈書王臣伝論	板	1
3	96	単騎要略	板	5
3	97	古今著聞集	板	20
3	98	和事始	板	3
3	99	増補和漢名数	板	2
3	100	群書一覽	板	6
3	101	俗説贅弁	板	3
3	102	保建大記打開	板	3
3	103	南嶺子	板	4
3	104	南嶺遺稿	板	4
3	105	秋斎閑語	板	4
3	106	諸家知譜拙記 貞享板土橋氏	板	3
3	107	斥非	写	1
3	108	梅窓筆記	板	2
3	109	狐加持之次第	写	1
4	1	国語	板	10
4	2	春秋左氏伝 杜氏集解	板	15
4	3	文選旁訓大全	板	10
4	4	詩経	板	2
4	5	書経	板	2
4	6	礼記	板	4
4	7	易経	板	2
4	8	春秋	板	1
4	9	古文真宝	板	2
4	10	小学 内外	板	2
4	11	大和小学	板	5
4	12	論語集解国字弁	板	5
4	13	六経略説	板	1
4	14	円機活法 反韻	板	1
4	15	大学	板	1
4	16	論語	板	4
4	17	孟子	板	4
4	18	中庸	板	1
4	19	聖学問答	板	3
4	20	為学初問	板	2
4	21	聖学自在	板	3
5	1	八雲神詠秘訣	写	1

項	No.	書籍名	板写	巻冊
11	2	後太平記	板	21
11	3	残太平記	板	12
11	4	西国太平記	板	10
11	5	中国太平記	板	11
11	6	陰徳太平記	板	41
11	7	毛利記	板	6
11	8	温古私記	写	16
11	9	築山屋形盛衰記	写	2
11	10	吉田物記	写	2
11	11	周防長侯略系	写	1
11	12	大内義隆記	写	1
11	13	信州川中島合戦評判	写	1
11	14	吉田物語 大内家之伝	写	1
11	15	大内様御家根本記 言延撰	写	1
11	16	大内殿御家中名附	写	1
11	17	大内殿由来記	写	1
11	18	大内殿系図	写	1
11	19	大内家類聚系譜	写	1
11	20	諸軍書序跋集書	写	1
11	21	為人鈔	板	10
11	22	享保二年赤間関唐船追払	写	1
11	23	大内家覚書	写	1
12	1	易学小筌	写	1
12	2	当物伝	写	1
12	3	通変亀鑑	写	1
13	1	小謡集	写	1
13	2	山口十境諷	写	1
14	1	徒然草鉄槌	板	3
14	2	新智恵海	板	3
14	3	我つゑ	板	1
14	4	前訓	板	1
14	5	風流色道訓	板	1
14	6	韻字題	写	1
14	7	当用往来	板	1
14	8	諸国翁墳記	板	1
14	9	鄙都言種	板	2
14	10	陰徳文	板	1
14	11	やしない艸	板	2
14	12	やしない艸次篇	板	2
14	13	身体はしら立	板	1
14	14	独歩行	板	1
14	15	提挑灯	板	1
14	16	当世垣のそき	板	1
14	17	有へかゝり	板	2

項	No.	書籍名	板写	巻冊
6	21	古代連歌百韻	写	1
6	22	産衣	板	1
6	23	連歌初教集	写	1
6	24	春夢草	写	1
6	25	古連歌 抜書	写	1
6	26	賢舜連歌寄合集	写	1
7	1	天経或問	板	3
7	2	天経大略天学名目鈔	板	1
7	3	天文初学抄指南	板	6
7	4	天文成象図 軸物也	板	1
7	5	天文日本分野図 軸物也	板	1
7	6	唯一神道糞目鳴弦次第口授図	写	1
8	1	増補四聲字林	板	1
8	2	四聲便蒙	写	1
8	3	合類大節用	板	13
8	4	節用集大全	板	1
8	5	早引節用集	板	1
8	6	てにをは細鏡	板	1
8	7	床浦大明神之考	写	1
9	1	文則	板	1
9	2	四大家文集	板	3
9	3	文家必用	板	2
9	4	学語篇	板	2
9	5	三体詩	板	3
9	6	唐詩選	板	1
9	7	杜律集解 七言	板	2
9	8	杜律集解 五言	板	4
9	9	詩語碎錦	板	2
9	10	開元天宝遺事	板	1
9	11	角常 世ニ万歳楽	写	1
9	12	三五韻	板	2
9	13	新選対類	板	1
9	14	増修三重韻索音竝仮名遣	板	1
9	15	明詩礎	板	1
9	16	詩韻選 半物 下巻	板	1
9	17	詩学道標	板	1
9	18	詩材抜錦 折本	板	1
9	19	当用鐙方百の枝折	写	1
9	20	周防山口十境詩 趙可庸	写	1
10	1	養神延命録	板	2
10	2	養生訓	板	4
10	3	日用食性便覧 寄物	板	2
10	4	大同類聚方	板	1
11	1	前々太平記	板	21

項	No.	書籍名	板写	巻冊
14	53	吉川内蔵之助分限帳	写	1
14	54	無給通根元記	写	1
14	55	寺社知行附并寺社敷御除石高帳	写	1
14	56	明和七改分限帳 長府様お惣御寄組衆中方迄	写	1
14	57	明和二年改寺社分限帳	写	1
14	58	輝元様御直筆御連歌写	写	1
14	59	柏手口決幣帛調様大事并三種祓十二支配当之伝 軸物也	写	1
14	60	草薙剣号考春日四座神	写	1
14	61	大宮内院中院外院神其外	写	1
14	62	天正廿年 芸州厳島社御奉納毛利一万句三ツ物	写	1
14	63	文禄三年 芸州厳島社御奉納毛利一万句三ツ物	写	1
14	64	慶長四年 芸州厳島社御奉納毛利一万句三ツ物	写	1
14	65	防長両国式内神社附并同寺社数附立門古城之附出	写	1
14	66	萩古実物語	写	1
14	67	古実覚 毛利御家	写	1
14	68	尼子殿家頼分限帳	写	1
14	69	諸国藻塩草拔書 防長両国ノ分	写	1
14	70	和漢三才図会拔書 周防長門	写	1
14	71	慶長十八年八月十五日八幡宮御法楽御連歌写	写	1
14	72	七いろは并国尽	写	1
14	73	弁財天之御事覚書附リ七福神ノ事	写	1
14	74	商売往来	板	1
14	75	近江国犬神郡多賀大社伝	写	1
14	76	諸国多賀神社諸記	写	1
14	77	淡路国津名郡多賀大社伝	写	1
14	78	周防山口多賀大社由来	写	1
14	79	周防山口多賀大社勧請并諸説 周防山口相殿末社之神名公儀付出写	写	1
14	80	稲荷大明神諸国御鎮座本記	写	1
14	81	山王社之伝	写	1
14	82	人丸社諸国御鎮座本紀	写	1

項	No.	書籍名	板写	巻冊
14	18	金もふかる伝	板	2
14	19	書集草 神事 雑事	写	1
14	20	時習解	写	1
14	21	雷楔伝	写	1
14	22	大日本未来記	写	1
14	23	徂徠先生学則	写	1
14	24	鎮宅靈符縁起集説拔書	写	1
14	25	野馬台詩 序起詩注解	写	1
14	26	芸州元就公弘元公御廟ノ図	写	1
14	27	三翁録拔書	写	1
14	28	朝鮮信使行次座目并書翰反翰	写	1
14	29	暦 折本宮入	板	60
14	30	雑事書集	写	1
14	31	懷中年代記 小本	板	1
14	32	和漢厯代記録并通俗軍志折本	板	1
14	33	日本地名便覧 附分国年月折本	板	1
14	34	和漢書画一覽 折本	板	1
14	35	雲上要覽 折本	板	1
14	36	女四書	写	1
14	37	日光山名跡誌	板	1
14	38	本朝画家系譜并印図	板	1
14	39	新撰和漢書画一覽	板	1
14	40	大内記	写	1
14	41	大内殿名有衆今八幡記ニ有之名付	写	1
14	42	大内陶両家之厯代略世譜	写	1
14	43	待宵物語	写	2
14	44	雪舟伝	写	1
14	45	輝元様御上洛日記 上巻一冊	板	1
14	46	元就様芸州厳島御合戦一件前後之記・吉田物語拔書	写	1
14	47	御当家御譜代帳	写	1
14	48	芸州分限古帳	写	1
14	49	御家之事覚書	写	1
14	50	古代ノ分限帳	写	1
14	51	無給帳 分限帳ナリ	写	1
14	52	慶長拾七年内藤左衛門尉組帳写并元和三年内藤左衛門尉組帳写	写	1

項	No.	書籍名	板写	巻冊
14	91	大寧寺十四世珠門和尚書翰	写	1
外	1	御当職其外御役人帳	写	1
外	2	唯一神道服忌令問答秘書	写	1
外	3	祭祀祝文集 折本		1
外	4	小倉山荘色紙 尊円親王石橋		1
外	5	連歌 納屋春統自筆		1
外	6	連歌 納屋春統独吟元和二年巖島社奉納		1
外	7	陶道猷御会屋形義隆公御発句其外		1

項	No.	書籍名	板写	巻冊
14	83	多賀大社祭神伊弉諾尊惣伝集記	写	1
14	84	古今御役人付 但寄組已上	写	1
14	85	当国三十三番霊場参詣手引案内	写	1
14	86	山口霊場八十八ヶ所同所三十三番観音付立	写	1
14	87	小笠原流驥方目録	写	1
14	88	防長ノ名所付リ和歌	写	1
14	89	大内義長公御画像讀写 袋入	写	1
14	90	大内義隆公画像 御束帯	写	1

表3. 目録1に収載されていて目録2に収載されていない書目

項	No.	書籍名	板写	朱	現目録※現状
2	81	本朝神祇道世家系図	写	+	615
2	130	湯立神楽唱	写	+	662
2	137	諸社銘文	写	+	422
3	15	厄歳之事 和漢三才図会	写	+	1342
3	84	大内正統系譜	写	+	141
5	21	取集連歌	写	+	1317
6	5	化野千句	写	+	1288
6	7	昌琢連歌 付り花下家系	写	+	1309
6	25	古連歌 抜書	写	+	1316
11	20	諸軍書序跋集書	写	+	1367
14	30	雑事書集	写	+	1402
14	31	懷中年代記 小本	板	+	1166
14	44	雪舟伝	写	+	122
14	50	古代ノ分限帳	写	+	231
14	57	明和二年改寺社分限帳	写	+	375
14	70	和漢三才図会抜書 周防長門	写	+	8
14	71	慶長十八年八月十五日八幡宮御法楽御連歌写	写	+	1301
14	73	弁財天之御事覚書附リ七福神ノ事	写	+	664
14	76	諸国多賀神社諸記	写	+	741
14	78	周防山口多賀大社由来	写	+	736※02-035畑村御嫡ノ森伝等と合綴(近代カ)
14	82	人丸社諸国御鎮座本紀	写	+	597
14	86	山口霊場八十八ヶ所同所三十三番観音付立	写	+	406
14	87	小笠原流驥方目録	写	+	1364
14	91	大寧寺十四世珠門和尚書翰	写	+	679
外	6	連歌 納屋春統独吟元和二年巖島社奉納		+	1306

表2. 「山口多賀大神宮御文庫書目 乾坤」(多賀社文庫0002-1、2)
収載書目一覧

- *「目録1」欄では目録1における排列を「項-No.」で表記し、目録1にないものは「-」とした。
 *「目録1」欄の「項-No.」について、同一書籍とみられるが字句に異同のあるものは斜字体で示した。
 *「朱」欄では目録1において文化14年「引合」時の朱引のあるものに「+」を付した。
 *項目の排列は、1: 国史類/2-1: 神書類/2-2: 神書類神社部/3: 有職類并雑/4: 氏族類并花押類并雑/5: 字書類/6: 紀行類/7: 歌書類并雑/8: 連歌部/9: 天文部/10: 地理部并雑/11: 隨筆并雑書/12-1: 軍書類/12-2: 軍書類軍術部/13: 医書/14: 記録類/15: 儒書并詩文并雑

項	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
2-1	38	公儀服忌令	写	1	03-074	+
2-1	39	神部雜記扶書	写	1	03-050	+
2-1	40	十種神宝秘伝	写	1	03-082	+
2-1	41	十種神宝極伝	写	1	03-086	+
2-1	42	十種神宝図	写	1	03-087	+
2-1	43	十種神宝図形	写	1	03-091	+
2-1	44	自從抄	写	1	03-089	+
2-1	45	持授抄	写	1	03-088	+
2-1	46	宝鏡図	写	1	03-090	+
2-1	47	十数伝	写	1	03-071	+
2-1	48	十数講書 光海翁再述	写	1	03-072	+
2-1	49	十二辰位伝 松岡先生	写	1	02-100	+
2-1	50	十二支和訓	写	1	02-138	+
2-1	51	庚申伝	写	1	02-116	+
2-1	52	庚申伝口授	写	1	02-115	+
2-1	53	庚申伝祭儀 橘家	写	1	02-117	+
2-1	54	幸神秘訣	板	2	02-118	+
2-1	55	猿田彦大神伝	写	1	02-114	+
2-1	56	神懷秘抄	写	1	02-099	+
2-1	57	神楽秘文抄	写	1	02-105	+
2-1	58	太鼓口決	写	1	02-104	+
2-1	59	禰伝	写	1	02-102	+
2-1	60	足土根記	写	1	02-110	+
2-1	61	弁道書	板	1	-	
2-1	62	弁々道書	板	2	-	
2-1	63	神道明弁	写	1	03-043	+
2-1	64	神道独語	写	1	-	
2-1	65	神国決疑編	板	3	-	
2-1	66	よさしふみ	写	2	02-106	+
2-1	67	神路事触	板	3	02-127	+
2-1	68	張先生夜話	写	2	-	
2-1	69	本朝麓近道	板	3	02-128	+
2-1	70	神道名目類聚鈔	板	3	02-031	+
2-1	71	神風恵草	写	2	02-101	+
2-1	72	陽復記	板	2	-	
2-1	73	神道奥義	写	2	-	
2-1	74	日本魂 附録学則問答	写	1	01-008	+
2-1	75	日本学則	板	1	02-034	+
2-1	76	鎮宅靈符縁起	板	2	14-024	+
2-1	77	神山二葉草	板	3	02-125	+
2-1	78	神道野中清水	板	4	02-126	+
2-1	79	神国女訓抄 絵入	板	1	02-129	+
2-1	80	土金伝	写	1	02-133	+
2-1	81	土金伝訓	写	1	02-134	+
2-1	82	或問土金伝	写	1	02-135	+
2-1	83	神道土金伝或問	写	1	02-136	+
2-1	84	竜雷伝	写	1	02-132	+
2-1	85	かみこの路	写	1	02-107	+
2-1	86	松岡先生延享二年夜話	写	1	02-108	+
2-1	87	神道愚按抄 成重述	写	1	02-111	+
2-1	88	神道六箇条 成重述	写	1	02-112	+
1	1	日本書紀	板	25	01-001	+
1	2	続日本紀	板	20	01-002	+
1	3	日本後紀	板	20	01-003	+
1	4	続日本後紀	板	20	01-004	+
1	5	文徳実録	板	5	01-005	+
1	6	三代実録	板	30	01-006	+
1	7	旧事本紀	板	5	02-024	+
1	8	古事記	板	3	02-027	+
1	9	旧事本紀撮要	板	1	02-026	+
2-1	1	御鎮座次第記	写	1	02-120	+
2-1	2	御鎮座本記	写	1	02-121	+
2-1	3	御鎮座伝記	写	1	02-122	+
2-1	4	倭姫命世記	写	1	02-123	+
2-1	5	宝基本記	写	1	02-124	+
2-1	6	天口事書	写	1	02-094	+
2-1	7	古老口実伝	写	1	02-095	+
2-1	8	神宮秘伝問答	写	1	02-096	+
2-1	9	神皇実録	写	1	02-097	+
2-1	10	対馬国卜部亀卜之次第	写	1	-	
2-1	11	殿取盡島筆記	写	1	02-070	+
2-1	12	殿取盡島日記	板	1	-	
2-1	13	旧事本紀解序 徂徠集之内拔書附衆故	写	1	-	
2-1	14	神明憑談	板	2	02-032	+
2-1	15	読旧事記説	写	1	02-025	+
2-1	16	神道天璣才記	板	1	-	
2-1	17	古語拾遺	板	1	02-029	+
2-1	18	古語拾遺	写	1	02-030	+
2-1	19	日本書紀私記	写	1	02-013	+
2-1	20	日本書紀纂疏	板	8	-	
2-1	21	日本書紀通証	板	22	01-007	+
2-1	22	元元集	板	8	02-020	+
2-1	23	延喜式大祓詰訓	写	1	02-038	+
2-1	24	神祇拾遺	写	1	02-098	+
2-1	25	唯一神道妙法要集	板	1	03-061	+
2-1	26	唯一神道妙法要集并制戒系譜	写	1	03-062	+
2-1	27	宗源神道	写	1	03-058	+
2-1	28	神道大意	写	1	03-065	+
2-1	29	神道大意義解	写	1	03-066	+
2-1	30	神道大意抄	写	1	03-067	+
2-1	31	神道大意抄 守中翁撰	写	1	03-068	+
2-1	32	三元神道三妙加持経鈔	写	1	03-060	+
2-1	33	神宮先考祭記	写	1	03-076	+
2-1	34	神道喪祭私記	板	1	-	
2-1	35	神道葬祭略次第 吉田家	写	1	03-075	+
2-1	36	神道服忌令 吉田家	写	1	03-073	+
2-1	37	唯一神道服忌令問答秘書卜部兼右卿西国下向之節	1	外2	+	

項	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
2 -1	141	六根清浄大祓解除	写	1	03-031	+
2 -1	142	六根清浄大祓永弘抄	写	1	03-032	+
2 -1	143	六根清浄大祓成重抄	写	1	03-033	+
2 -1	144	六根清浄大祓浅説	板	1	03-035	+
2 -1	145	六根清浄大祓秘鈔	写	1	03-036	+
2 -1	146	六根清浄大祓講義	写	1	03-037	+
2 -1	147	六根清浄大祓偽書考	写	1	03-039	+
2 -1	148	三種大祓秘決	写	1	03-042	+
2 -1	149	三種大祓奥秘	写	1	03-046	+
2 -1	150	三種大祓伝	写	1	03-044	+
2 -1	151	三種大祓社参次第聞書 吉川惟足	写	1	03-045	+
2 -1	152	忌部八箇祝詞	写	1	03-048	+
2 -1	153	忌部八箇祝詞道分草	写	1	03-041	+
2 -1	154	広田南宮劍珠祝詞	写	1	03-056	+
2 -1	155	童田風神祭祝詞	写	1	03-052	+
2 -1	156	甲子祭儀 橘家	写	1	02-113	+
2 -1	157	祭祀祝文集	写	1	外3	+
2 -1	158	神家常用	写	1	-	
2 -1	159	大織冠御啓白文伝記	写	1	03-049	+
2 -1	160	祈禱弁口授	写	1	02-103	+
2 -1	161	狐加持之次第	写	1	03-109	+
2 -1	162	唯一神道大護摩次第 神 壇之図	写	3	03-081	+
2 -1	163	吉田家奥秘切紙	写	1	03-063	+
2 -1	164	吉田殿御証文写	写	1	03-064	+
2 -1	165	護法弁口授	写	1	03-053	+
2 -1	166	十八神元氣円満鈔	写	1	03-055	+
2 -1	167	神拝次第 附祓祝文	写	1	03-051	+
2 -1	168	諸祓并祝詞	写	1	-	
2 -1	169	日所作五行大事	写	1	03-047	+
2 -1	170	橘家神軍伝	写	1	03-078	+
2 -1	171	橘家神軍伝聞書	写	1	03-077	+
2 -1	172	橘家玉方陣	写	1	03-079	+
2 -1	173	橘家墓目巻	写	5	-	
2 -1	174	橘家鳴弦巻	写	5	-	
2 -1	175	唯一神道墓目鳴弦次第口 授図	写	1	07-006	+
2 -2	1	延喜神名式	板	3	02-039	+
2 -2	2	本朝神社考	板	6	02-052	+
2 -2	3	神社考詳説	板	1	-	
2 -2	4	神社啓蒙	板	8	-	
2 -2	5	神社便覧	写	1	02-054	+
2 -2	6	一宮記	写	1	02-055	+
2 -2	7	神名帳頭書	写	1	02-041	+
2 -2	8	諸社一覽	板	8	02-053	+
2 -2	9	稲荷社記	写	1	02-058	+
2 -2	10	出雲国杵築天日隅宮考	写	1	02-060	+
2 -2	11	厳島社道芝記撮要	写	1	02-057	+
2 -2	12	太宰府天満宮古実	写	2	02-119	+
2 -2	13	石州高角人丸社宣命位記	写	1	02-063	+
2 -2	14	播州明石人丸社女房奉書	写	1	02-064	+
2 -2	15	草薙劍号春春日四座神	写	1	14-060	+
2 -2	16	大宮内院中院外院神其外	写	1	14-061	+
2 -2	17	廿一社記	板	1	-	
2 -2	18	二十二社注式	板	1	-	
2 -2	19	二十二社本録	板	1	-	

項	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
2 -1	89	神学系伝	写	1	02-084	+
2 -1	90	柏手口決幣帛調様大事并 三種祓十二支配当之伝 軸物也	写	1	14-059	+
2 -1	91	神代巻白祓伝	板	5	02-009	+
2 -1	92	神代巻藻塩草	板	4	02-012	+
2 -1	93	神武巻藻〔塩〕草	板	1	02-012	+
2 -1	94	日蔭草 神代巻神武巻共 二	写	1	02-014	+
2 -1	95	玉籤集 目録共二	写	9	02-017	-
2 -1	96	神代巻最極奥秘	写	1	02-018	-
2 -1	97	神代巻口決 忌部	板	5	02-001	+
2 -1	98	神代巻 山崎嘉点	板	2	01-009	+
2 -1	99	神代巻 白川殿字頭点并 頭書	写	2	01-010	+
2 -1	100	神代巻鈔 山崎先生考訂	写	1	02-002	+
2 -1	101	神代巻合解	板	12	02-011	+
2 -1	102	神代巻上講義 環翠軒宗 尤	写	2	02-010	+
2 -1	103	神代巻常盤草 松岡先生	写	2	02-003	+
2 -1	104	神代巻口授 松岡先生	写	4	02-006	+
2 -1	105	神代珍書 玄斎先生	写	1	02-005	+
2 -1	106	神代巻口説 木金氏 上	写	1	02-004	+
2 -1	107	神代巻白銅鏡章	写	1	02-008	+
2 -1	108	神代巻延享聞書	写	1	02-007	+
2 -1	109	神代巻夢草	写	1	02-015	+
2 -1	110	神代紀髻華山蔭	板	1	-	
2 -1	111	神武巻 下御霊板	板	1	01-011	+
2 -1	112	神武巻之鈔	写	1	02-016	+
2 -1	113	中臣祓古義	板	1	-	
2 -1	114	中臣祓塩土伝	板	1	03-003	+
2 -1	115	中臣祓説	板	3	03-001	+
2 -1	116	中臣祓旧証	写	3	03-002	+
2 -1	117	中臣祓鈔 卜部兼俱卿	写	1	03-018	+
2 -1	118	中臣祓打開	写	1	03-008	+
2 -1	119	中臣祓口決	写	1	03-024	+
2 -1	120	中臣祓講録	写	1	03-021	+
2 -1	121	中臣祓風水抄	写	1	03-004	+
2 -1	122	中臣祓晴明抄	写	1	03-005	+
2 -1	123	中臣祓白雲抄	写	1	03-006	+
2 -1	124	中臣祓白雲抄講談聞書	写	1	03-070	+
2 -1	125	中臣祓諸葉草	写	1	03-007	+
2 -1	126	中臣祓正義直接鈔	写	1	03-014	+
2 -1	127	中臣祓三箇大事八箇伝	写	1	03-016	+
2 -1	128	中臣祓風水草管窺	写	1	03-017	+
2 -1	129	中臣祓愚按書	写	1	03-013	+
2 -1	130	中臣祓秘伝鈔	写	1	03-022	+
2 -1	131	中臣祓直接鈔	写	1	03-023	+
2 -1	132	中臣祓秘説抄	写	1	03-020	+
2 -1	133	中臣祓成重鈔	写	1	03-009	+
2 -1	134	中臣祓講述鈔	写	1	03-010	+
2 -1	135	伊勢中臣祓	写	1	03-011	+
2 -1	136	橘家中臣祓	写	1	03-012	+
2 -1	137	祓八箇大事	写	1	03-025	+
2 -1	138	六根清浄大祓集説	板	1	03-034	+
2 -1	139	六根清浄大祓弁略	写	1	03-028	+
2 -1	140	六根清浄大祓御弁書	写	1	03-029	-

項	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
3	26	武家官位略記 写	写	1	-	
3	27	武家装束器具略記	写	1	-	
3	28	朝鮮信使行次座目并書翰反翰	写	1	14-028	+
3	29	武林便覧	板	1	-	
3	30	雲上明鑑 文政二年板諸社諸寺方伝奏巻	写	1	-	
3	31	吉田家諸国社家執奏記	板	1	-	
3	32	社家境界録	写	1	-	
3	33	慶長武鑑 半物	写	1	-	
3	34	公方様大納言様御転任御兼任御次第	写	1	-	
3	35	御当家様御登城御備附写	写		-	
3	36	和礼義流要約集	板	1	-	
3	37	神祇道問答 神祇伯白川殿へ御尋相成候答	写	1	-	
4	1	神世七代図記	写	1	03-085	+
4	2	天神七代地神五代神武天皇略系	写	1	02-090	-
4	3	諸神系図	写	1	02-078	+
4	4	無窮記 皇統正系	写	1	02-077	+
4	5	神代系図 上下 上ノ巻 自国常立尊至諸神下ノ巻 諸家系図	板	1	-	
4	6	本朝皇胤紹運録	板	14	02-073	+
4	7	諸家大系図	写		-	
4	8	本朝皇胤紹運統録 附四親王家御系譜	板	1	02-074	+
4	9	神祇統系紹運之図	板	1	-	
4	10	天皇承統譜	板	1	-	
4	11	笠原豊前 神代系図	板	1	-	
4	12	出口延佳 神代系図天神七代地神五代系	写	1	02-091, 092	+
4	13	新撰姓氏録	板	3	-	
4	14	神皇正統記	板	6	02-075	+
4	15	統神皇正統記	写	1	02-076	+
4	16	大江家御系図	写	1	-	
4	17	大江家御系図並御末家吉川家御六家略系諸家由緒附録	写	1	-	
4	18	吉田物語防長候略系	写		11-011	+
4	19	徳藩譜系	写		-	
4	20	西道智 大系図	板	30	-	
4	21	諸家伝	板	1	-	
4	22	諸家知譜拙記 貞享板	板	3	03-106	+
4	23	本朝武家大系図	板	2	-	
4	24	源平系図	板	1	-	
4	25	本朝武家詳林大系図	板	5	-	
4	26	本朝百将伝	板	1	-	
4	27	藤原氏系図	板	3	-	
4	28	将軍家譜	板	7	-	
4	29	徳川系譜正統	写	1	-	
4	30	徳川家略系 出東武国朝記之初巻	写	1	-	
4	31	征西將軍懷良親王系図 菊池軍記第六ニ見ユ	写	1	-	
4	32	大内系図 築山屋形盛衰記ノ	写	1	-	

項	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
2 -2	20	山城国愛宕郡吉田社一覽	写	1	02-066	+
2 -2	21	日光山名跡誌	板	1	14-037	+
2 -2	22	出雲大社記事	写	1	02-056	+
2 -2	23	春日大宮若宮御祭礼之図	板	3	-	
2 -2	24	伊勢大神宮神異記	板	2	-	
2 -2	25	大倭豊秋津嶋卜定記	写	1	02-062	+
2 -2	26	伊勢寄宮内親王行事記	写	1	02-061	+
2 -2	27	菅神御伝記	写	1	-	
2 -2	28	長岡天満宮草創之記	写	1	-	
2 -2	29	仰徳大明神社再建記	写	1	02-033	+
2 -2	30	防長寺社考	写	2	-	
2 -2	31	防長両国式内神社附并	写	1	14-065	+
2 -2	32	長門厚狹郡惣社八幡宮古文書写	写	1	-	
2 -2	33	周防佐波郡徳地出雲神社古文書写	写	1	-	
2 -2	34	周防国府神社古文書写	写	1	-	
2 -2	35	高嶺大神宮御鎮座御伝記	写	1	-	
2 -2	36	山口祇園御祭礼之覚 元禄十二己卯九月一名横屋記録抜書	写	1	-	
2 -2	37	畑村御嶽森伝	写	1	02-035	+
2 -2	38	多賀大神宮記	写	1	-	
2 -2	39	塩竈大明神之伝	写	1	03-080	+
2 -2	40	金毘羅大権現之事	写	1	03-083	+
2 -2	41	床浦大明神之事	写	1	08-008	+
2 -2	42	月読神袍斎守護縁記	写	1	-	
2 -2	43	享保年中山口寺社其外御改申出之写	写	1	-	
3	1	延喜式	板	50	02-037	+
3	2	延喜式神祇部	板	5	02-040	+
3	3	令義解	板	11	02-042	+
3	4	職原抄	板	2	02-047	+
3	5	百寮訓要抄	板	1	-	
3	6	職原大全 抜書	板	1	-	
3	7	有職問答 大内義隆卿問西三条実隆卿答	板	5	-	
3	8	官職秘抄	板	2	02-050	+
3	9	法曹至要抄	板	3	02-043	+
3	10	禁秘抄	板	3	02-044	+
3	11	御代始鈔御即位大嘗会	写	1	02-089	+
3	12	公事根源集	板	3	02-045	+
3	13	近代年中覚書	写	1	-	
3	14	御即位庭上之図 文化	板	1	-	
3	15	職原支流	板	1	02-048	+
3	16	職原童幼鈔	写	1	02-049	+
3	17	聖徳太子憲法十七ヶ条	写	1	-	
3	18	禁中并公家中諸法度十七ヶ条	写	1	-	
3	19	諸公家法度	写	1	-	
3	20	勅許紫衣之寺院	写		-	
3	21	弘安礼節	板	1	-	
3	22	歴名土代	板	3	-	
3	23	装束図式	板	2	-	
3	24	雲上明鑑 明和四年板	板	2	02-083	+
3	25	天明武鑑	板	4	-	

項目	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
5	8	てにをは便覧	板	1	-	
5	9	増補四聲字林	板	1	08-001	+
5	10	四聲便蒙	写	1	08-002	+
6	1	鹿苑院殿巖島諸記 抜書	写	1	-	
6	2	みちゆきふり 今川了俊 抜書	写		-	
6	3	筑紫紀行	写	2	-	
6	4	俳書 宰府紀行	板	1	-	
6	5	山口勝間氏 山口めくり	写	1	-	
6	6	山口勝間氏 山口枝折	写	1	-	
6	7	旅の土産 文字の道しる へ	写	1	02-019	+
6	8	駅のしをり	写	1	03-054	+
6	9	西遊記	板	5	-	
6	10	東遊記	板	5	-	
6	11	長州萩方防州小瀬川迄 行程記	写	1	-	
6	12	山口山水記 半本鶴台序	写	1	-	
6	13	幽斎道ノ記 抜書	写	1	-	
6	14	御選行長歌 本居宣長	写	1	-	
7	1	古今和歌集	板	2	05-006	+
7	2	新古今和歌集	板	3	05-010	+
7	3	新後拾遺集	板	1	-	
7	4	新続古今集	板	1	-	
7	5	万葉千歌	写	1	05-007	+
7	6	三十六歌仙金玉抄	板	2	05-008	+
7	7	伊勢物語	板	2	-	
7	8	真名伊勢物語	板	1	05-011	+
7	9	百人一首改観抄	写	3	05-004	+
7	10	袖珍名所歌枕	板	1	05-015	+
7	11	厚顔抄撮要 神代六巻	写	1	05-002	+
7	12	玉鉾百種	板	1	-	
7	13	和歌題林愚抄	板	8	05-012	+
7	14	増補和歌題林抄	板	11	05-013	+
7	15	草廬集類題	板	1	02-028	+
7	16	光源氏物語全部の歌	写	1	03-040	+
7	17	歌枕秋萩覚	板	1	03-027	+
7	18	細川幽斎詠歌大概抄	板	2	-	
7	19	年中行事歌合	板	1	-	
7	20	百人一首抄	板	1	-	
7	21	初学和歌式	板	3	-	
7	22	近衛尚通公日本記倭歌秘 註	写	1	-	
7	23	和歌極秘伝	写	1	05-003	+
7	24	八雲神詠秘訣	写	1	05-001	+
7	25	二十一代和歌撰者録	写	1	05-005	+
7	26	古今和歌集三鳥三木伝	写	1	05-019	+
7	27	名所小鏡	写	1	06-009	+
7	28	高角明石両社江御奉納和 歌	写	1	02-065	+
7	29	万葉集傍注 周防長門の 歌抜書	写	1	-	
7	30	和漢朗詠集	板	1	05-018	+
7	31	武家百人一首	板	1	-	
7	32	周防長門名所之歌	写	1	14-088	+

項目	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
4	33	大内陶両家歴代系譜	写	1	14-042	+
4	34	大内系図	写	1	11-018	+
4	35	大内家類聚系図 廿一氏 其外覚書	写	1	11-019	+
4	36	大内本系并十一家系図	写	1	-	
4	37	大内家譜氷上山伝記奥之 考	写	1	-	
4	38	菊池系図 菊池軍記第六 二見ユ	写	1	-	
4	39	花ノ下里村家松村家系図	写	1	-	
4	40	吉見家譜	写	1	-	
4	41	福原家譜	写	1	-	
4	42	藤原姓世譜	写	-	-	
4	43	内藤家譜	写	-	-	
4	44	歴代帝王系統譜	板	1	-	
4	45	日本百将百像伝	板	2	-	
4	46	日本百将伝抄	板	6	-	
4	47	日本古今人物志	板	7	-	
4	48	本朝孝子伝	板	3	-	
4	49	本朝列女伝	板	10	-	
4	50	大内義隆公御寿像 萩■ ■〔妙悟〕寺ニアリ	写	1	-	
4	51	大内義隆公画像東帯山口 龍福寺大江隆元公御寄 附	写	1	14-090	+
4	52	大内義隆公画像讃 異雪 和尚 異雪ハ大寧寺龍福 寺ノ住持也	写	1	14-090	+
4	53	天文十三年大内義隆公御 寿像實享 山口中尾村凌 雲寺旧跡寺勸堂蔵萩妙悟 寺蔵	写	1	-	
4	54	瑞雲山龍福公祠堂伝記 大寧寺蔵	写	1	-	
4	55	孔子封王弁説	写	1	-	
4	56	法苑珠林 阿弥陀仏部 抜書	写	1	-	
4	57	挫日蓮	板	1	-	
4	58	花押藪	板	7	-	
4	59	古押藪	板	7	-	
4	60	大内家臣花押	写	1	-	
4	61	本朝逸史	板	2	-	
4	62	和論語	板	10	02-071	+
4	63	人国記	板	4	-	
4	64	日本諸人物誌	板	1	-	
4	65	鎌倉以来将軍次第并執權	写	1	-	
4	66	垂加翁弟子記	写	1	02-085	+
4	67	松園先生伝	写	1	-	
4	68	無給通根元記	写	1	14-054	+
4	69	猿楽因縁聞書	写	1	-	
5	1	和名類聚抄	板	20	02-051	+
5	2	分類大節用	板	13	08-003	+
5	3	節用集大全	板	1	08-004	+
5	4	早引節用集	板	1	08-005	+
5	5	てにをは細腕	板	1	08-006	+
5	6	和字便覧	板	1	-	
5	7	古今仮名遣	板	1	-	

項目	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
10	4	京羽二重	板	8	02-072	+
10	5	雍州府志	板	10	02-068	+
10	6	大八洲図説	板	1	-	
10	7	元亨釈書王臣伝説	板	1	03-095	+
10	8	毛吹草 三ト四ノ巻	板	1	-	
10	9	内裏図	写	1	-	
10	10	天明改正細見京絵図	写	1	-	
10	11	明和何郡〔都〕絵図	写	1	-	
10	12	筑紫名寄	写	1	-	
10	13	名所方角抄	板	1	-	
10	14	諸国名義考拔書 周防長門	写	1	-	
10	15	本朝勝概記 周防長門	写	1	-	
10	16	和名抄所載周防国吉敷郡郷名私考	写	1	-	
10	17	上田氏周防国鑄銭司旧址考	写	1	-	
10	18	上田氏皇和泉譜銭司旧址考証附録	写	1	-	
10	19	日本地名便覧分国年月	板	1	14-033	+
10	20	諸国藻塩草 周防長門拔書	写	1	14-069	+
10	21	都名所車	板	1	02-067	+
10	22	大和めぐりの記	板	1	-	
10	23	諸国年中行事 四巻一本	板	1	-	
10	24	山口高嶺古城図	写	1	-	
10	25	山口今八幡鑄口之銘	写	1	-	
10	26	山口十境詩 趙可庸	写	1	09-020	+
10	27	山口十境謡	写	1	13-002	+
10	28	近代山口市中之図	写	1	-	
10	29	温故雜記 周防吉敷郡ノ丁	写	8	-	
10	30	周防国山口湯田温泉記	写	1	-	
10	31	周防国山口神社仏閣勝地案内附り名産	写	1	-	
10	32	周防国山口神社仏閣一覽	写	1	-	
10	33	周防国山口十境詩并古跡名産一覽	写	1	-	
10	34	日本惣国風土記 周防国残編	写	1	-	
10	35	駅路鈴之図	写	1	02-069	+
10	36	前王廟陵記	板	2	-	
10	37	諸国翁墳記	板	1	14-008	+
11	1	古今著聞集	板	20	03-097	+
11	2	梅窓隨筆	板	2	03-108	+
11	3	好古日録	板	2	-	
11	4	好古小録	板	2	-	
11	5	雅遊漫録	板	7	-	
11	6	桂林漫録	板	2	-	
11	7	南嶺子	板	4	03-103	+
11	8	南嶺遺稿	板	4	03-104	+
11	9	秋齋問語	板	4	03-105	+
11	10	遊和草	写	1	-	
11	11	続遊和草	写	1	-	
11	12	国朝諫諍六	板	2	-	
11	13	聖学自在	板	3	04-021	+
11	14	牛馬問	板	4	-	

項目	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
7	33	萩山口自慢尽俳諧歌仙	写		-	
7	34	萩山口論歌	写	1	-	
7	35	萩山口掛相狂歌	写		-	
7	36	八江萩之歌	写		-	
7	37	当用様方枝之枝折	写	1	09-019	+
8	1	新撰菟玖波集	板	5	-	
8	2	連歌世々指南	板	1	06-002	+
8	3	連歌至宝抄	板	1	05-020	+
8	4	連歌兩夜記	板	1	06-016	+
8	5	芸州厳島社御奉納連歌 文禄三年西吟千句三ツ物 集輝元公の事奥書有之	写	1	06-006	+
8	6	陶道観会座 義隆公御発句其外	写	1	外7	+
8	7	大原千句	写	1	05-016	+
8	8	心前千句	写	1	06-008	+
8	9	西山宗因夢想連歌	写	1	06-004	+
8	10	無言抄 上中下	板	1	06-001	+
8	11	柄柄千句 鎌倉	写	1	06-012	+
8	12	付合小鏡	板	1	05-014	+
8	13	七百韻 江戸	写	1	06-013	+
8	14	兼載連歌集	写	1	06-018	+
8	15	古代連歌百韻	写	1	06-021	+
8	16	連歌聞書	写	1	06-014	+
8	17	産衣	板	1	06-022	+
8	18	連歌初教集	写	1	06-023	+
8	19	連歌会席廿五禁	写	1	-	
8	20	連歌会席法度	写	1	-	
8	21	東照宮家康公御式百年祭御執行之節御百句御興行之御発句	写	1	-	
8	22	文化十一年正月十一日柳営之御会御連歌百韻	写	1	-	
8	23	文化十三年正月十一日柳営之御会御連歌 御一巡	写	1	-	
8	24	輝元様御直筆御連歌写 発句帳 半物 春部上下 夏部上下冬部上下 但秋部欠巻之事	写	1	14-058	+
8	25	天正二十年 芸州厳島社御奉納毛利一万句 三ツ物	写	1	14-062	+
8	26	文禄三年 芸州厳島社御奉納毛利一万句 三ツ物	写	1	14-063	+
8	27	慶長四年 芸州厳島社御奉納毛利一万句 三ツ物	写	1	14-064	+
9	1	天経或問	板	3	07-001	+
9	2	天経大略天学名目抄	板	1	07-002	+
9	3	天文初学抄指南	板	6	07-003	+
9	4	天文成象図	板	1	07-004	+
9	5	地球万国山海輿地図説 赤水	写	1	-	
10	1	日本分野図	板	1	07-005	+
10	2	豊後風土記 軍書一覽二出ル分	写	1	-	
10	3	訓蒙図彙	板	8	-	

項目	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
12 -1	9	為人抄	板	10	11-021	+
12 -1	10	菊池軍記	板	10	-	+
12 -1	11	佐々軍記	写	-	-	-
12 -1	12	平家語本	写	21	-	-
12 -1	13	平家物語奏音曲鈔	写	21	-	-
12 -1	14	小秘事	写	1	-	-
12 -1	15	明德記	板	3	-	-
12 -1	16	応永記	板	1	-	-
12 -1	17	嘉吉記	板	-	-	-
12 -1	18	大内義隆記	板	1	-	-
12 -1	19	中国■■■〔治乱〕記	板	1	-	-
12 -1	20	芸陽軍集 抜書	写	1	-	-
12 -1	21	長府見聞録 抜書	写	1	-	-
12 -1	22	大内記	写	1	14-040	+
12 -1	23	大内家覚書	写	1	11-023	+
12 -1	24	大内義隆記	写	1	11-012	+
12 -1	25	大内殿名有衆今八幡記ニ有之名附	写	1	14-041	+
12 -1	26	大内殿御家中名附	写	1	11-016	+
12 -1	27	大内由來記	写	1	11-017	+
12 -1	28	大内様御家根本記 輝元公依命令慶長廿年多賀大官司言延撰	写	1	11-015	+
12 -1	29	西国記	写	3	06-011	+
12 -1	30	築山屋形盛衰記	写	2	11-009	+
12 -1	31	毛利家御弓矢次第	写	1	-	-
12 -1	32	元就公記 抜書	写	1	-	-
12 -1	33	毛利殿防州山口御下向之事	写	1	-	-
12 -1	34	温古私記	写	16	11-008	+
12 -1	35	毛利記 長府侯御家ノ事	写	6	11-007	+
12 -1	36	吉田物語 二ト三ノ巻	写	2	11-010	+
12 -1	37	吉田物語附尾ノ上	写	1	-	-
12 -1	38	信州川中島合戦評判	板	1	11-013	+
12 -1	39	保建大記打開	板	3	03-102	+
12 -1	40	武者物語	板	7	-	-
12 -1	41	吉田物語 大内家之事 抜書	写	1	11-014	+
12 -1	42	豊臣鎮西軍記 抜書	写	-	-	-
12 -1	43	御群役評判 初丁破損題号不相知候朝鮮陣再度之御群役之様ニ相聞候	写	1	-	-
12 -1	44	元就公芸州殿島御合戦一件前後之記 吉田物語之抜書	写	1	14-046	+
12 -1	45	女曾我兄弟鑑 三ノ巻	板	1	-	-
12 -1	46	後太平記評判	板	30	-	-
12 -1	47	本朝通記 前編後編	写	1	-	-
12 -1	48	宗像伝記	写	1	-	-
12 -1	49	絵本彦山権現靈驗記	板	10	-	-
12 -2	1	水鑑抄栄城理伝	写	1	-	-
12 -2	2	單騎要略	板	5	03-096	+
12 -2	3	武用弁略	板	8	-	-
12 -2	4	海国兵談 序目録抜書	写	1	-	-

項目	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
11	15	徒然草鉄槌	板	3	14-001	+
11	16	日本歴史略評註	板	4	02-079	+
11	17	本朝故事因縁集	板	2	-	-
11	18	異称日本伝	板	15	-	-
11	19	和事始	板	6	03-098	+
11	20	漢事始	板	6	02-046	+
11	21	群書一覽	板	6	03-100	+
11	22	和漢年契	板	1	-	-
11	23	国史年表	板	1	-	-
11	24	和漢書尽一覽	板	1	-	-
11	25	本朝画印譜	板	1	-	-
11	26	和漢歴代記録	板	1	14-032	+
11	27	曆 自享保十七年至文政六年年数九十二年	板	92	14-029	+
11	28	俗説贅弁	板	3	03-101	+
11	29	和漢名数大全	板	1	-	-
11	30	増補和漢名数	板	2	03-099	+
11	31	大日本未来記	写	1	14-022	+
11	32	野馬台詩 序記詩註解	写	1	14-025	+
11	33	扶桑見聞私記惣目録	写	1	-	-
11	34	燭戒問抄	板	6	-	-
11	35	庭訓往来捷註	板	1	-	-
11	36	大和小学	板	5	04-011	+
11	37	六論行義大意	板	1	-	-
11	38	通俗大上感応篇	写	1	-	-
11	39	滑川談	板	1	-	-
11	40	明君家訓	写	1	-	-
11	41	当用往来	板	1	14-007	+
11	42	女四書	板	1	14-036	+
11	43	農家益	板	3	-	-
11	44	養蚕秘録	板	3	-	-
11	45	絵本武者録	板	3	-	-
11	46	垣根草	板	5	-	-
11	47	新智恵海	板	3	14-002	+
11	48	我つえ	板	1	14-003	+
11	49	前削	板	1	14-004	+
11	50	風流色道訓	板	1	14-005	+
11	51	郎都言種	板	2	14-009	+
11	52	郎都言種後編	板	2	-	-
11	53	やしない草	板	2	14-011	+
11	54	やしない草次篇	板	2	14-012	+
11	55	身体はしら立	板	1	14-013	+
11	56	独歩行	板	1	14-014	+
11	57	提挑灯	板	1	14-015	+
11	58	当世垣のそき	板	1	14-016	+
11	59	有べかゝり	板	2	14-017	+
11	60	金もふかる伝授	板	2	14-018	+
11	61	陰徳文	写	1	14-010	+
11	62	角常 山口問田万歳楽	写	1	09-011	+
12 -1	1	和漢書要覽	板	1	-	-
12 -1	2	前々太平記	板	21	11-001	+
12 -1	3	後太平記	板	21	11-002	+
12 -1	4	残太平記	板	12	11-003	+
12 -1	5	西国太平記	板	10	11-004	+
12 -1	6	西国諸家盛衰記	板	17	-	-
12 -1	7	中国太平記	板	11	11-005	+
12 -1	8	陰徳太平記	板	41	11-006	+

項目	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
14	35	雪舟大軸添書 狩野栄川	写	1	-	
14	36	東武国朝記 抜書	写	1	-	
14	37	周防国府寺院古文書写	写	1	-	
14	38	乗福寺之事	写		-	
14	39	国清寺文書写	写	1	-	
14	40	金龜院文書写	写		-	
14	41	常栄寺文書写 附靈光院文書写	写	1	-	
14	42	瑠璃光寺文書旧記等写	写	1	-	
14	43	大寧寺之事	写		-	
14	44	龍文寺之事	写		-	
14	45	建咲院之事	写		-	
14	46	泰雲寺之事	写	1	-	
14	47	保安寺之事	写		-	
14	48	禪昌寺之事	写		-	
14	49	古社寺之事	写		-	
14	50	防州徳山一覽荒増覚	写	1	-	
14	51	烏田智唐貫通 古実秘書	写	1	-	
14	52	烏田智唐貫通 燕居漫録	写	1	-	
14	53	烏田智唐貫通 慶安五年以来要覚人	写		-	
14	54	延宝天和之間覚書	写	1	-	
14	55	野村勘兵衛咄覚書	写		-	
14	56	江家聞見録之抜書	写		-	
14	57	列職名簿 御役人帳也	写	4	-	
14	58	古今御役人附 寄組已上	写	1	14-084	+
14	59	山口御代官所年中差定記	写	1	-	
14	60	山口有吉氏 元文後記	写	1	-	
14	61	山口有吉氏 安永後記	写	1	-	
14	62	益田牛庵書附	写	1	-	
14	63	益田牛庵覚書	写		-	
15	1	国語	板	10	04-001	+
15	2	春秋左氏伝	板	15	04-002	+
15	3	文選旁訓大全	板	10	04-003	+
15	4	小学 内外	板	2	04-010	+
15	5	孝経	板	1	03-069	+
15	6	大学	板	1	04-015	+
15	7	論語	板	4	04-016	+
15	8	孟子	板	4	04-017	+
15	9	中庸	板	1	04-018	+
15	10	詩経	板	2	04-004	+
15	11	書経	板	2	04-005	+
15	12	礼記	板	4	04-006	+
15	13	易経	板	2	04-007	+
15	14	春秋	板	1	04-008	+
15	15	論語集解国字解	板	5	04-012	+
15	16	古文真宝	板	2	04-009	+
15	17	開元天宝遺事	板	1	09-010	+
15	18	唐詩選	板	1	09-006	+
15	19	三体詩	板	3	09-005	+
15	20	杜律集解 五言七言	板	6	09-007, 8	+
15	21	詩韻選 殘篇	板	1	09-016	+
15	22	三五韻	板	2	09-012	+
15	23	新選対類	板	1	09-013	+

項目	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
12 -2	5	享保二年赤間閣唐船追掛	写	1	11-022	+
12 -2	6	清江記 抜書	写	1	-	
12 -2	7	陶尾張守晴賢首実見之巻 吉田物語之抜書	写	1	-	
13	1	大同類聚方	板	1	10-004	+
13	2	養神延命録	板	2	10-001	+
13	3	養生訓	板	3	10-002	+
13	4	小児必用	板	6	-	
14	1	鎌倉頼朝公御時代分限帳	写	1	-	
14	2	八箇国御時代分限帳	写	9	-	
14	3	毛利家分限帳 秀就公御代	写	1	-	
14	4	元和八年限帳	写	1	-	
14	5	分限帳 寛永二年より同八年迄卜聞云	写		-	
14	6	御当家御譜代帳	写	1	14-047	+
14	7	芸州分限古帳	写	1	14-048	+
14	8	慶長十七年内藤左衛門尉組帳写	写	1	14-052	+
14	9	元和三年内藤左衛門尉組帳写	写		14-052	+
14	10	無給帳 分限帳也	写	1	14-051	+
14	11	徳山御家頼分限帳	写	1	-	
14	12	吉川内蔵之助分限帳	写	1	14-053	+
14	13	徳山被召放候衆中名前	写	1	-	
14	14	尼子殿家頼分限帳	写	1	14-068	+
14	15	明和七改分限帳 長府様より惣御寄組衆中方迄	写	1	14-056	+
14	16	寺社知行附并寺社數御除石高帳	写	1	14-055	+
14	17	大内殿掟制札類	写	1	02-140	+
14	18	東鑑 抜書	写	1	-	
14	19	毛利公御家之事覚書	写	1	14-049	+
14	20	毛利家御証文 抜書	写	1	-	
14	21	戒記	写	6	-	
14	22	待宵物語	写	2	14-043	+
14	23	輝元様御上洛日入記 上ノ巻	写	1	14-045	+
14	24	三翁録	写	2	14-027	+
14	25	萩古実物語	写	1	14-066	+
14	26	防長两国古実	写	1	02-036	+
14	27	防長寺社数并古城附立	写	1	14-065	+
14	28	九度目享保八癸卯十二月朔日ヨリ同九甲辰正月申御規式帳下書 萩 抜書	写	1	-	
14	29	毛利家判改書	写	1	-	
14	30	芸州元就公弘元公御廟之図	写	1	14-026	+
14	31	本朝列侯伝 毛利家伝抜書	写	1	-	
14	32	藩翰譜 毛利御元家伝抜書	写	1	02-088	+
14	33	拾芥集 抜書 清末家之事貼付徳山御家格之事	写	1	-	
14	34	御当家寄組十家	写	1	-	

項目	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
15	31	婿献遺言講義	板	1	03-026	+
15	32	聖学問答	板	3	04-019	+
15	33	為学初問	板	2	04-020	+
15	34	文家必用	板	2	09-003	+
15	35	学語篇	板	2	09-004	+
15	36	詩語碎錦	板	2	09-009	+
15	37	寛政七年乙卯元日稿	写	1	-	

項目	No.	書籍名	板写	巻冊	目録1	朱
15	24	増修三重韻索音并仮名遣	板	1	09-014	+
15	25	明詩礎	板	1	09-015	+
15	26	四大家文集	板	3	09-002	+
15	27	徂徠先生学則	板	1	14-023	+
15	28	文則	板	1	09-001	+
15	29	垂加文集	板	7	03-092	+
15	30	垂加全集	板	8	03-093	+

表 4.
「多賀大社御書物目録」（目録1）・「山口多賀大神宮御文庫書目」（目録2）の分類項目及び排列

* アミガケは漢籍によって構成されている項目を示す。

目録1			目録2		
No.	項目名		No.	項目名	
1	和史其外		1	国史類	
2	神代神武卷註釈類其外		2	-1 神書類	
3	祓類其外		2	-2 神書類神社部	
4	儒書其外		3	有職類并雑	
5	歌書其外		4	氏族類并花押類并雑	
6	連歌書其外		5	字書類	
7	天文書其外		6	紀行類	
8	字書類其外		7	歌書類并雑	
9	詩文類其外		8	連歌部	
10	養生書		9	天文部	
11	軍書類其外		10	地理対并雑	
12	卜書		11	随筆并雑書	
13	謡本		12	-1 軍書類	
14	雑部其外		12	-2 軍書類軍術部	
			13	医書	
			14	記録類	
			15	備書并詩文并雑	

表 5.
『合類書籍目録大全』・『群書一覽』分類項目排列

A. 『合類書籍目録大全』

1 国史 神書類	17 天台宗書	33 連歌書
2 有職書	18 日蓮宗書	34 俳諧書
3 儒書 経書類	19 俱舍宗書	35 狂歌書
4 諸書類	20 律宗書	36 筆道書 石刻類
5 文集 書翰書類	21 華嚴宗書	37 往来手本類
6 詩集 誦詠句書類	22 法相宗書	38 女筆手本類
7 歴史 伝記書類	23 真言宗書	39 天文曆占相書類
8 故事 雑書類	24 修験道書	40 算法書
9 字書 韻書類	25 禪宗書	41 教訓書
10 印譜類	26 語録類	42 女書
11 医書	27 植字板語録類	43 帳方書
12 外科書	28 浄土宗書	44 茶道書
13 鍼灸書	29 一向宗書	45 立花書
14 諸宗経 末書類	30 仏書類雑	46 香道書
15 諸宗折経類	31 仮名法語書	47 盤上書
16 僧伝書	32 歌書 物語類	48 料理書

B. 『群書一覽』

1 国史類	18 歌合類
2 神書類	19 百首類
3 雑史類	20 千首類
4 記録類	21 類題類
5 有職類	22 和歌雑類
6 氏族類	23 撰歌類
7 字書類	24 歌書類
8 往来類	25 詩文類
9 法帖類	26 医書類
10 物語類	27 教訓類
11 草書類	28 釈書類
12 日記類	29 管弦類
13 和文類	30 地理類
14 紀行類	31 名所類
15 撰集類	32 随筆類
16 私撰類	33 雑書類
17 歌書類	34 群書類従

- * Aは国文学研究資料館96-773-1～12（CC BY-SA 4.0にて公開）を、Bは国立国会図書館025.1-〇977g-k（同館デジタルコレクション）をもとに作成した。
- * 濃いアミガケはAは目録1、Bは目録2に同名もしくは類似の項目がみられないものを示す。
- * 薄いアミガケはAは目録1、Bは目録2において類似の項目名があるか、ほぼ同名の項目があっても排列が異なることを示す。